

# 都が整備する競技会場等における木材利用の取組

## 1 これまでの取組

- 東京都公共建築物等における多摩産材利用推進方針  
公共建築物等の整備における積極的な多摩産材の利用を促進
- 東京都建築工事標準仕様書  
製材等については、林野庁のガイドラインで示す認証制度等により、合法性、持続性が証明された木材を使用するよう規定

## 2 木材利用の考え方

- ・ 材料の特性（耐火性や耐久性、メンテナンス性等）や各競技施設の特性（大スパンへの対応や天井吊荷重等への強度確保など）を踏まえ、適所に木材を利用  
各施設の内装における木質化を推進
- ・ 施設に使用する木材については、認証制度（FSC、PEFC、SGEC等）等を活用し、合法性や持続性が証明された材料を利用

## 3 木材利用の状況

競技会場等	状況	木材利用
東京 アクアティクスセンター	工事中	内装の木質化
海の森水上競技場	竣工	内装の木質化
有明アリーナ	竣工	屋根の構造材にハイブリッド材を利用（木材＋鉄骨） 内装の木質化
カヌー・ スラロームセンター	竣工	管理棟の内装の木質化
大井ふ頭中央海浜公園 ホッケー競技場	竣工	スタンド棟の内装の木質化 伐採樹木の有効利用
夢の島公園 アーチェリー場	竣工	伐採樹木の有効利用
有明テニスの森公園 テニス施設	竣工 一部工事中	インドアコートの屋根構造材に 利用（プロジェクト認証取得） 伐採樹木の有効利用

## 4 木材の利用促進

- 補助制度の活用（有明アリーナ）  
サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）（国土交通省）

## ■ 施設概要

所在地：東京都江東区有明一丁目11番1号

延べ積面：約47,200m<sup>2</sup>

階数：地上5階

座席数：約15,000席（仮設席含む）

実施競技：オリンピック / バレーボール

パラリンピック / 車いすバスケットボール

木材利用：メインアリーナ及びコンコースの天井面及び壁面などに約800m<sup>3</sup>（主に国産材）

メインエントランスの天井面及び壁面には多摩産材

全景（北東側から）



外観（東側から）





# 有明アリーナ 木材利用

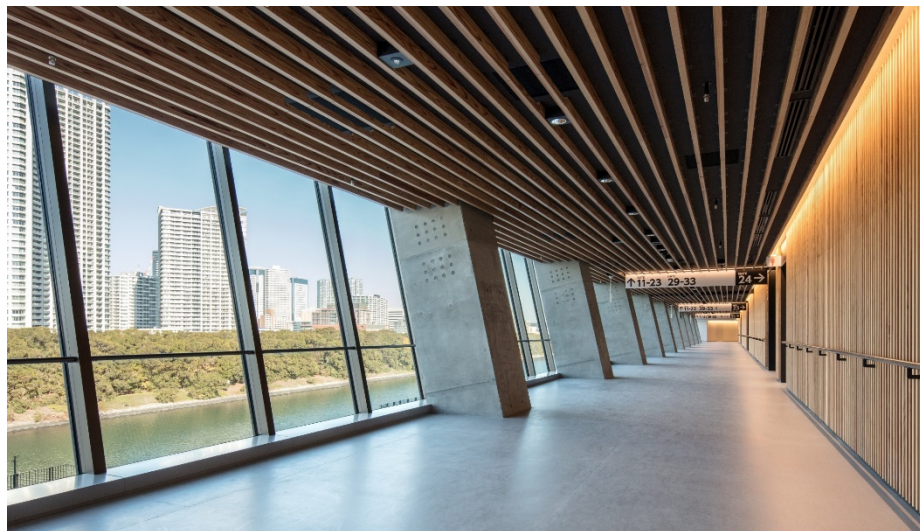
メインアリーナ (天井、壁)



メインエントランス (天井及び壁 多摩産材)



コンコース (天井、壁)



サブアリーナ (壁、床)





# 有明テニスの森公園テニス施設 施設概要

## ■ 公園概要

所在地：東京都江東区有明二丁目

名称：有明テニスの森公園  
(昭和58年開園)

面積：約163,000㎡

実施競技：オリンピック／テニス

パラリンピック／車いすテニス

## ■ クラブハウス・インドアコート施設概要

延べ積面：約10,000㎡

階数：地上2階

木材利用：インドアコート屋根トラス梁などに  
約430㎡ (国産材)

受付カウンターには多摩産材

全景 (南側から)



外観パース (南東から)



# クラブハウス・インドアコート 木材利用

インドアコート（屋根トラス梁）



エントランスホール（受付カウンター **多摩産材**）



屋根トラス梁 モックアップ



屋根トラス梁 組立

